

レンジフードファン 取付説明書 PSH60/75/90

取扱説明書・取付説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

安全上のご注意

- 取付の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

！警告：人が死なまたは重傷を負う可能性が想定される内容。

！注意：人が損害を負う可能性及び物的危険のみの発生が想定される内容。

●お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

- 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
- 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造しないこと。
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付けること。
漏電した場合、発火したり感電することがあります。

- 自然排気型のストーブを使用するときは、空気の取入口(給気口)により十分供給される配慮をするこ
と。
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。

- 記録工事は電気設備技術基準や内線規定に従って安全確実に行うこと
誤った記録工事は感電や火災の恐れがあります。

- 羽根や部品の取り付けは確実に行うこと
落下によるけがをするおそれがあります。

- 本体の取付け工事は十分強度のあるところを選んで確実に行うこと
落すにより、けがをすることがあります。

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
(浴室用換気扇をお使いください)
感電および故障の原因になります。

注意

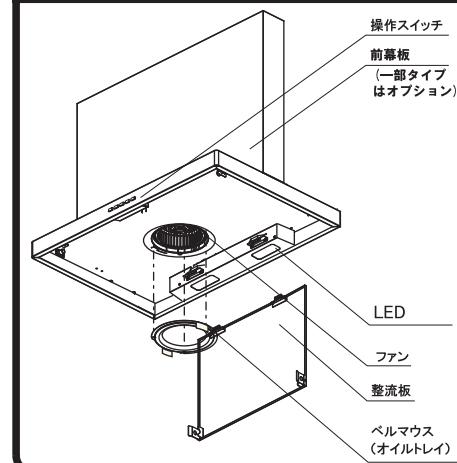
- 交流100V以外では使用しないこと。
100V
火災・感電の原因となります。

- 羽根や部品の取り付けは確実に行うこと
落すによるけがをするおそれがあります。

- 本体の取付け工事は十分強度のあるところを選んで確実に行うこと
落すにより、けがをすることがあります。

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
(浴室用換気扇をお使いください)
感電および故障の原因になります。

各部の名称



取り付け前の調査と準備

！注意

- レンジフード本体の取り付け工事は、十分強度のある取付け面または補強板等に確実に行うこと
落すによりけがをすることがあります。
- 壁材が薄く弱いと振動音が発生することがあります。
- レンジフード取り付け面の木部に、取り付け用木ねじが確実に届いているかを確認すること
本体の取り付け用木ねじは、45mmの長さのものが同梱されておりますが
壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、
取り付け用木ねじが確実に木部に届くことを確認してください。

1

取り付け面の強度確認

製品を支える強さが必要です。

型名	重量
PSH60/75/90	12.5Kg
	13.5Kg
	14.3Kg

板張りの場合

- 板厚が20mm以上の場合は直接板に取り付けてください。
- 板厚が20mm以下の場合には壁に補強板を埋め込み補強板にレンジフードを取り付けてください。

■コンクリート、タイル壁の場合

- あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールブルグ等を使用し固定してください。

■土壁の場合

- 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでおいてください。

2

部品の準備

排気工事に応じた部品の準備が別途事前に必要です。

3

標準取付寸法

本製品の標準取付寸法は、ガス器具の上面からレンジフード本体下面まで 80cm です。

※キッチンセットの全高が2350でワークトップ上高さが850mmの場合となります。ワークトップ上高さが、それぞれ900~800mmのとき、750~900mmとなります。

4

電源コンセント

コンセントは専用コンセントを設置してください。
(交流・単相100V)

コンセントは、15A 125V をご使用ください。

取り付け上のご注意

- ガス器具の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。ガス器具はレンジフードの前面より手前にはみ出でて設置しないでください。
排気効率が低くなります。
- レンジフードの取り付けは、薄板の金属部(壁内ラス網等)と接触しないように、十分注意して工事してください。なお、本体の壁への埋め込みは、絶対にやめてください。漏電した場合発火することがあります。
- 排気工事をされる場合、建築基準法(同施行令)および消防法等の関連法規に従って施工してください。
- 屋外壁面の排気出口に取り付けるペンドキャップまたはパイプフードの通気抵抗は50Pa時400m³/h以上をもつてご使用ください。
防音網付きのものは目詰まりで排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。

- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
- 周囲温度が40°C以上になる所には取り付けないでください。
火災・故障の原因となります。
- 製品仕様を改変しての使用は絶対におやめください。
火災・感電の原因となります。
- 電源は専用コンセントを設けてください。
火災・感電の原因となります。
- 製品の取付工事には袋を用いてください。
薄板の切り口などに力がかかる恐れがあります。
- 製品はガス器具の真上に取り付けてください。
なお、製品取付高さは、器具の下端がガス器具の真上80cm以上になるようにしてください。

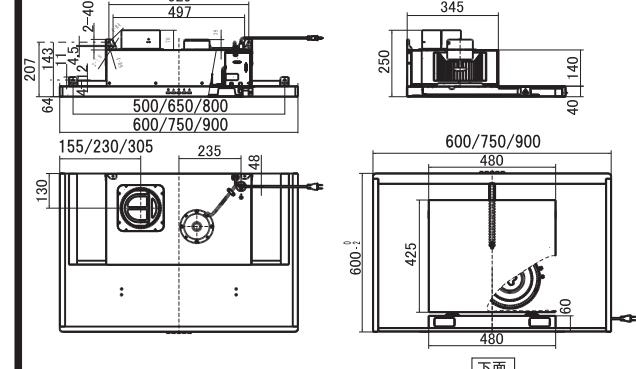
- レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。また、横方向50cm以上離して取り付けてください。

湯沸器の真上は高熱になるため、故障の原因となります。

- 建物が密閉されている場合は必ず、約400cm程度の空気取入口を設けてください。

- 部屋の中央で料理される場合は、油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、より優れた換気ができます。

製品寸法図



付属品



- 排気口 (1個)
本体とダクトの接続に使用します。
逆風防止シャッター付きです。
本体に取り付けています。
- 壁付ねじΦ5.0 × 48mm (4本)
本体の取り付けに使用します。



- ご使用開始時に、シャッターを止めているテープをはがして下さい。

取り付けかた

1. 付属品の確認

梱包箱から付属品を取り出し、おもて面の付属品一覧により不足がないか確認してください。取扱説明書および、この取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。



取り付け作業の際はキズ、破損のないように十分注意してください。



●製品取り扱いの際は、厚手の手袋すること。



鋼板の切り口や角で、またビスの先端などでけがをすることがあります。

2. 排気位置の決定



●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付けること。漏電した場合、発火したり感電することがあります。



●浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
感電および故障の原因になります。
(浴室用換気扇をお使いください)

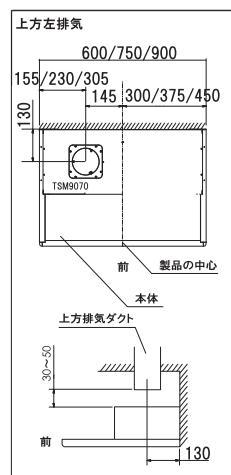


1 製品寸法を参照し、壁穴を開けて下さい。また、コンセントの位置を確認して下さい。

2 $\phi 150$ のステンレスダクト、または、スパイラルダクトを図のよう
にレンジフードの上部に突き出
すようにセットして、周囲を仕上げ
て下さい。
(コンクリート、タイル、土壁の場
合)

3 排気位置を確認してから設置して下さい。

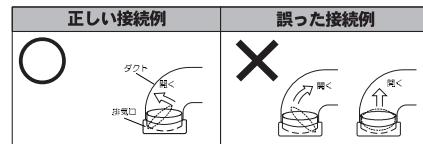
※排気位置はキッチンセットの
R/Lに関係なく固定してあります
設置現場の排気位置に合わせて
ダクトなどを手配してください。



3. 排気用部品の準備



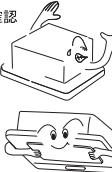
排気口の取り付けは、排気方向をご確認の上正しく取り付けてください。



4. 本体の取り付け



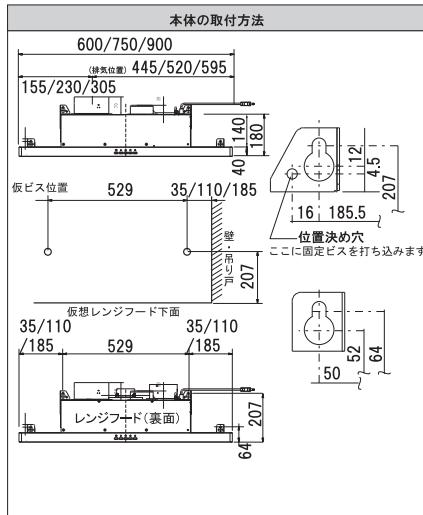
●本体の取付工事は十分強度があることを確認して行ってください。
落下によりけがをすることがあります。



●部品の取り付けは確実に行ってください。
落下によりけがをすることがあります。



別売部品の組み立ては各々の説明書をご覧ください。



1 仮ビスを左右2本上記の位置に打ち込んで下さい。

2 打ち込んだビスに本体(ダルマ穴)を引っ掛けて下さい。

3 高さが決まりましたら、本体を固定して下さい。

4 左右残りの2穴にも固定して下さい。

5. ダクトと排気用部品の接続



テクスねじなどで排気口を固定する場合は、シャッターにねじがあたらないようにしてください。

■ 排気口とダクトとの接続

風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）を行ってください。



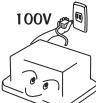
6. 電気配線



●修理技術者以外は、絶対に分解したり修理・改造しないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。



分解・修理
・改造禁止



●交流100V以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります。



●配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って安全・確実に行うこと
誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。



●排気工事をされる場合は建築基準法(同施工令)
および消防法などの関連法規に従って安全・確実に
行って下さい。
火災などの原因になります。



●アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電することがあります。



アースを取り付ける
アース接続端子はフード本体の
上面、向かって右手側にあります

なお、アース線は取付・設置側手配
となります。

●コンセントはレンジフード本体の上部に合せて設置して下さい。

●必ずアース(第3種接地工事)をして下さい。

●電源プラグをコンセントに差し込みます。

7. 幕板・横幕板の取り付け

○ 前幕板(1枚)は同梱しております。付属の取付け説明書をご確認下さい。

なお、横幕板は別売となります。プライスリストをご覧ください。

8. 運転準備



1 クッション材を取り除きます。
運送用のクッション材と固定テープ、および取り扱い説明書を取り除いてください。



2 整流板・フィルター等が所定の位置に取付けられているか確認して下さい。

9. 試運転



10. お客様への説明

■取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。

■取扱説明書と共に、この取扱説明書を必ずお客様へお渡しください。

発売元： 株式会社 PIU STYLE

電話： 048-271-9333

住所： 〒332-0012 埼玉県川口市本町4-13-3